

# 環境問題に触れ ゴミについて考えた7日間の旅

昨年10月27日～11月2日まで、町民11名が海外視察研修へ参加しました。テーマは、ドイツのフライブルクを中心にゴミ環境問題を学び、スイスのユングフラウでは、自然環境保護について視察しました。今回から3回に分けて研修の報告を掲載します。



## 海外研修で 学んだこと

研修団長

阿達昭五さん(雁巻)

「百聞は一見に如ず」の諺のように、町民海外研修でドイツ・スイスの国の様子や日本の良さを知ることができた。このような機会を与えてくれた町当局に感謝いたしております。

## 環境対策先進地 フライブルク市の 研修に参加して

米田静夫さん(鎌倉)

研修地の規模が非常に大都市で、新潟県の長岡市より人口で約2万5千人ほど多い先進地の為、自然保護対策、交通対策、都市対策、ゴミ・廃棄物処理対策、エネルギー対策、森林対策、農業対策、飲料水対策、景観保護対策、等などの多岐に亘り人間生活にきめ細やかな配慮をした対策を行っており、色々と参考になるものが多くありました。それらを念頭に本町の場合を考えると次の点と思えます。

うな人間の為の静養、保養空間への配慮、又、山地の土取り等で崩壊した林地の生態を回復する空間等を考える必要があると思います。生活環境は、下水道事業その他でかなり改善されているが、工場排水、畜産公害、土取り公害、廃棄物等により町民の快適な生活空間が阻害されている部分も、一部見受けられ行政の指導力が必要と考えます。

花と緑の小須戸町と云うキャッチフレーズで緑化対策に公園や道路及び住宅開発地等に取り入れられ町内の景観や美観に一役買っており今後も進めるべきと考えます。

ゴミ・廃棄物処理対策について



フライブルク市の中心は歩行者優先として路面電車とバス以外の乗り物は締め出された

ライン河は、耕地の中をゆつくりと流れ、信濃川のように洪水を防ぐ堤防は見られなかった。

町全体に潤いを持たせ心を和ませてくれている。今後も、「花と緑の町」として力を入れていただくことに期待しています。

## 環境都市 フライブルクを訪ねて

小林ユリさん(矢代田II)

「黒い森」と呼ばれる山がある。森林が酸性雨等で立ち枯れたものである。原因は、工業地帯より運ばれる空気汚染によるものである。日程の関係で視察できなかった。市や市民はこの現実から、自然保護に強い関心がよせられるようになり、保護政策が進められた。

私達日本人、小須戸町民は意識を変えて環境問題について関心をもち、行政と協力して住みよい魅力的な町にしなければと思います。そこで、小須戸町のことを考えてみました。

自然破壊は、人間が文化生活を営むためと、科学の発達による面が大きいです。自然と人間が共生するには、一国だけの問題でなく世界的な問題である。日常生活の消費を少しでも減らすことが、自然保護につながるものである。

交通問題を取り上げた場合、住宅地、市街地の道路は、むしろ広くない方がよい。という発想の転換はどうでしょうか。そして速度制限を守らせるために、わざと交通の障害になるものを作ることを考えても良いのではないかと思います。

町も自然保護には力を入れられ、菩提寺山から大沢公園までの遊歩道は、自然破壊しないように造成されています。恵まれた環境に住むとありがたさを感じません。これから自然を大切に生活しなければと考えるべきです。

ゴミ問題については、ゴミは必要悪の物です。住民一人ひとりが分別収集をきちんとやる、空き缶等は捨てない、ゴミは極力減らす、この3点につきると思います。行政はデポジット製を早急に導入してゴミの減量化、資源の再利用促進の為に、法・条例の整備を

また、小須戸町は、美しい環境で安心して楽しく住める町づくり而努力されています。新しい道路などに街路樹や花だんがつけられ

世界は一つ大自然が原点であり、晴れあがった青空のように、人のやさしい心を育てるには、良い自然環境が大きな役割を果たすことを教えてくれたフライブルク市の訪問でした。

素晴らしい機会を与えて頂き、ありがとうございます。



フライブルク市街のゴミ箱

は、ゴミのみを比較すると、色々と減量作戦等を考えている、フライブルク市は、年に1万2千円を各世帯から徴収している。小須戸町では年に一世帯当たり公費で約3万1千5百円拠出しており、町の加入している組合においてゴミに対する減量対策や再利用対策を充分検討し、住民の一人一人の自覚と協力を求めながら、経費の節減を図るとともに環境に優しいゴミ行政を行っていただきたい。

最後にエネルギー問題は、国の政策的問題と考えるが、フライブルク市においては、原子力エネルギーの推進を中止し、代替エネルギーの開発を推進しており、その例としてゴミ埋立て地より出るメタンガスを利用したり太陽熱を利用したソーラーハウス等を研究し省エネ対策とクリーンエネルギー対策に官民共同で取り組んでいます。

この、リサイクル仕分け業者の見学は、ゴミはできるだけ少なくし、きちんと決められたゴミの出し方をしなければならぬことを痛感した。燃えるもの、生ゴミ、プラスチック、ガラスなど気をつけなければならない問題が、ゴミ処理場では、大変な労力を要しているのである。

## フライブルク廃棄物 処理会社を見学して

田沢迪子さん(矢代田6)

フライブルク市で廃棄物リサイクル業者を見学した。ゴミの山と呼ばれているゴミ捨て山を見学。

グーテンモーゲン・ダンケしか使わなかったドイツ語ですが、少しは国際交流の小さな芽を広げることができたのではと自負しています。貴重な体験をさせていただきお礼申し上げます。